

4月のたより

2013. 4. 30 発行 福島恭子・大森志穂

3歳児クラスのみ曜日

月曜日は、3歳児のみで、今までの外遊びに加え、畑での栽培活動や土遊び、料理、造形や歌や踊り等々の表現活動と行います。外遊びでの経験をもとに、様々な活動を計画しています。早速、4月15日には、初めての料理の目で「おにぎり」を作って食べました。



鉄火巻きをいただきました

おいしいね

あったかいいご飯に、パリッのり、いい香りのしずりたてのかつおぶし、梅干というシブシブなメニューでしたが、各自持参したお弁当には目もくらげと自分で一口サイズのおにぎりを作ってはお弁当、また作って...の子供たちでした。2週間以上経ちますが、「また、やろね。」とAちゃんからリクエストされました。印象的だったのは、みんな喜んでくれる様子、また、やろね」と話していましたが、いよいよ、近いうちにやらねば!!

さて、畑では現在、じゃがいも、やエンドウ、リーフレタス、イチゴを栽培中です。週に1回畑へ行くたびに変化が見えます。3歳の子供たちには、それがどんな風に見えるでしょう...。(私たち保育者が「葉っぱが大きいのが」とか「お花が咲いた」等話してはいますが...) 畑の不様子は、ブログでも紹介していますので、是非ご覧ください。そうそう、去年育てた、ポウキクサが自力で芽を出したのです。また、ほたて作りもできましたね。そのほたてをうぐいして...。こんな暮らし、豊かだなあと思います。



ホームページも是非ご覧ください。ブログ書いてます

こいのぼりに感動

あらやしき公園に大きなこいのぼりが飾られました。それを見に、久しぶりにあらやしき公園へ。こいのぼりが、強い風に吹かれて、バタバタとダイナミックに泳いでいました。わーっ！とこいのぼりの下を駆け抜ける子、「きれい、きれい」と石歳としながら何度も叫ぶ子、こいのぼりや吹き流しの色が気にならな子、黙って見上げていたかと思ふと、急にこいのぼりから遠ざかり、またいっしょと見つめる子、感動をその子なりに表現する子どもたちでした。

その数日前には、文理台公園へ行き、広い芝生の上を走って、大きなこいのぼりを泳がせました。(こいのぼりをいたいたのです。) この日も、こいのぼりと一緒によく走りまわりました。そして、子どもたちがよく車転びしました。芝生の凸凹はいつも歩いている場所と勝手に違うのでしょうか。改めて、いろいろな場所を歩き、遊ぶことが必要だと感じました。



オタマジャクシ

文理台公園では、池でオタマジャクシを見ることができました。こいのぼりもそうなのですが、今ならではのものがです。池の水面ぎりぎりまで行って、カッパで遊ぶようにしたり、やってみたい気持ちにはあっても見ただけの

4月、どんぐりころころの新しい1年間が始まりました。今年も年間カリキュラムに基づいて、その時々の子どもの姿や思いに応じて、遊び、生活をします。*「年間カリキュラム」は、子どもが年齢に応じた発達や季節(自然の移り変わり)等を考慮して立てています。散策、大まかな計画はしておいて、子どもが望みに合わせて、今年も、一人一人の子らしい成長を願ひ、一日一日、その時々を大切にしていきたいと思ひます。


子むいたり。素手でつくえるように、なつた子もいました。オタマジャクシの池も「また、行こうね」とリクエストがあります。オタマジャクシでいるうちにまた、見に行かねば(それに、姿形が変わったところも見せたいですね...)(葉は、まだ伸びたにたいては、元気に泳いでいます。子どもたちもよく見えています) 今ならではの体験が、その子の季節感を育てていくのだろうと思います。

道端や公園がにぎやか

春の景色っていいなあと思います。色が一気に魚やかかに似ました。緑、黄、ヒク、オレンジ、白、青...。一年前のおたよりに保谷の町なかの色のことを書いた記憶があります。タンポポとナガビナゲツが、どんぐりの散歩コースには、自立ちます。たくさん摘んで喜び、花束にしておひなさまになりまわす子、花を握りしめて歩く子、ビニール袋に入れて、お土産にする子等いろいろです。自由に摘み取れることが、子どもにとって、とてもいいことなのです。

そして、ナガビナゲツは、つぼみで遊んだり、茎を折ると出てくる黄色い汁で遊んだりし始めると、かぶり集中して遊ぶことが出来ます。こいのぼりや草花も今だけ。旬を大事にしたいです。

ナガビナゲツ (薄いオレンジ色の花)



どんぐりころころ
春のマーケット開催
6月2日(日)です。
詳しくは、後日お知らせ。
ボクちゃん、ホムページ等